

岡山市生物多様性地域戦略の成果指標の状況について

1 概要

生物多様性の保全と持続可能な利用に関する施策を総合的・計画的に推進するため、生物多様性国家戦略に基づく生物多様性基本法、岡山市第六次総合計画および第2次岡山市環境基本計画（改訂版）等を踏まえ、生物多様性基本法第13条に基づき、平成28年度に岡山市生物多様性地域戦略（以下、「戦略」という。）を策定した。

令和3年度に実施した中間報告（令和3年度岡環保2048）以降の成果指標の状況をまとめた。

2 成果指標の実績推移

令和2年度（2020年度）から昨年度までの成果指標の実績と執行状況を取りまとめた結果を下表に示す。

成果指標 【単位】	2020年度	2021年度	2022年度	評価	目標値 (2025年度)
アユモドキの実態調査対象地域の拡大	生息地	生息地	生息地	横ばい	他地域への拡大
執行状況	引き続き拡大に努める。				
森林や原野の割合【%】	44.7	44.7	44.2	横ばい	44%台
執行状況	減少しているが、目標値はクリアしている				
地球温暖化防止行動の実践度（市民意識調査） 【%】	未調査	56.1	未調査	上昇	60%
執行状況	エコドライブ講習会やライトダウンキャンペーンなどの取組を通じ引き続き啓発する。				

成果指標 【単位】	2020年度	2021年度	2022年度	評価	目標値 (2025年度)
自然体験・文化伝承に関する公民館講座数 【講座】	20	62	93	上昇	50 講座
執行状況	新型コロナウイルス感染症対策による休止の影響が無くなったため、講座数が回復した。				
エコファーマーの認定者数【戸】	76	59	48	低下	300 戸
執行状況	エコファーマーの認定メリットが少なく、減少傾向にある。				
ESD プロジェクトの参加組織数【組織】	323	341	360	上昇	405
執行状況	岡山 ESD プロジェクト活動の積極的な PR 等によって、参加団体数は目標値に向けて着実に増加している。				
地域環境教室の新規実施地区数【人】	4,453	5,096	11,695	上昇	16,000
執行状況	各主催者のウィズコロナ対応により、参加者数が大きく増加した。				
身近な生きものの里認定地区数【地区】	21	23	25	上昇	25
執行状況	ほぼ計画どおりに増加しており、引き続き認定地区数の増加に努める。				